

荻田セキ子 研究者として渡米した経験活かし、留学生相談室を設立、ガイドブックも出版し、"在日留学生の母"。

おぎたせきこ

護憲三派圧勝1924 = 盛岡市仙北町に生れる。旧姓吉田。

満州事変・・・1931 = 7歳：

国際連盟脱退1933 = 9歳：

日中戦争始・・・1937 = 13歳：

日米開戦・・・1941 = 17歳：
・・・・・・1942 = 18歳：

年金+総武装 1944 = 20歳：自由学園女子部高等科卒業。同年から20数年間、理化学研究所・名古屋大学などで宇宙線の研究に従事、
敗戦・・・・・・1945 = 21歳：

戦後は、名古屋大学助手となって、

独立回復・・・1951 = 27歳：

宇宙線の研究で理学博士の号を取得。

のち、アラスカ大学地球物理研究所助教授となり、

アラスカで荻田直史と結婚。

安保闘争・・・1960 = 36歳：

帰国後、

霞ヶ関ビル・・・1968 = 44歳：*米国滞在の経験を生かして、東京YWCAの留学生の母親運動に参加。

全共闘・・・・・・1969 = 45歳：

以後、留学生問題に取組み、とりわけ東南アジアからの私費留学生に対し、住宅や奨学金問題など生活全般にわたって支援、

石油ショック1973 = 49歳：

角栄金脈辞任1974 = 50歳：*東京YWCAからの「留学生は訴える」「留学生のための案内書大学入学案内」、

田中角栄逮捕1976 = 52歳：_「留学生の受け入れは何のためか」と出版にかかわり、

成田衝突・・・・・・1978 = 54歳：

その後、アジア学生文化協会留学生相談室のカウンセラーとなり、

・・・・・・1981 = 57歳：

中曽根内閣・・・1982 = 58歳：

「大学院案内」創刊、
「奨学金案内」創刊などにもかかわる。
また日本語学校校長もつとめ、家賃が払えない留学生には身銭を切って面倒をみたほか、病気入院中の学生には付添って看病、ピザの切替えが面倒な学生には同行するなど、国籍を問わず留学生たちに尽した。

バブル始・・・1986 = 62歳：*「文化鎖国ニッポンの留学生」。ボランティアグループ留学生相談室を設立、ガイドブック「留学生のための宿舎案内」や月刊情報誌{交流ネットワーク}を発行し健筆をふるったが、

竹下登内閣・・・1987 = 63歳：

リクルート事件・・・1988 = 64歳：_没した。